

令和 年 月 日

現在までに医聖会に  
解剖献体をされた方・ご家族へのお知らせ（献体を用いた解剖研究につ  
いて）

本学では、学生に対する解剖献体を用いた教育に加えて、医師に対する手術手技教育、解剖研究を実施しております。これらの研究は、生前に献体にご同意を頂いた方々の解剖献体を用いたものですが、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成26年12月22日制定、平成29年2月28日一部改正）」に死体試料も含まれるとの記載がされたため、改めてお知らせさせて頂いております。対象となる方のお一人おひとりから再度直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身・ご家族のご献体が研究として利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名：学生実習用解剖献体を用いた、四肢・体幹の神経、血管、腱の走行位置の検証
2. 研究期間：2020年1月～2022年12月
3. 研究機関：産業医科大学整形外科学
4. 実施責任者：講師 善家 雄吉
5. 研究の目的：産業医科大学では、当大学に献体されたご遺体を、医学生の解剖実習のみならず、医師の教育・研究にも利用しており、平成24年5月に日本外科学会・日本解剖学会の連名で作成された「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」に準拠して行なっています。教育・研究・肉眼解剖の定義としては、手術手技や検査手技の技術向上を目的とする解剖は「教育」とし、新たな手術手技の開発や人工関節などの新しいデバイス開発などは「研究」とし、通常の医学生の肉眼解剖実習のように人体の構造を知るための解剖は「肉眼解剖」と定義します。解剖献体を用いてこれらにつき得られた知見を今後の臨床医学分野に役立てることを目的といたします。具体的には、低侵襲、小切開で手術を行う場合、X線透視像を用いてメルクマールとし手術を行っていきますが、その構造がわかりづらい状況です。しかしながら

本研究を行うことで、X線透視像から神経・血管・腱に走行の解剖学的位置を想起することができるようになります。したがって、神経、血管、腱の合併症を減少させることが可能となることが考えられます。

6. 研究の方法：四肢、体幹の手術部位を展開し、神経(橈骨神経・浅腓骨神経 等)・血管(大腿回旋動脈 等)・腱(長母趾伸筋腱 等)を同定します。肉眼的な破格、分岐を分類したうえで、X線透視で可視化できる鋼線(1.0mm soft wire)を神経・血管・腱等の走行に沿わせて固定します。それらをX線透視にて描出し、鋼線との位置関係、距離を画像上、肉眼的に計測します。計測した長さ、画像を解析し、神経・血管・腱が走行している領域を確認します。
7. 個人情報の取り扱い：本研究では個人情報は取り扱いません。データは対象者が特定できないように、本研究の成果の発表に関し、写真・動画撮影等においては個人を特定できる部位(顔およびその他特徴的な身体的特徴)に関しては加工等を施し、特定できないよう配慮する。また、研究実施責任者の厳重な管理の下で、対象者番号を付して匿名化し、その番号と実名の対応表とともに鍵のかかる本学整形外科学研究室に保管します。本研究で収集したデータは、研究終了後5年間保管し、匿名化を確認した上で廃棄します。利用の拒否を申し出られた場合は、本研究の対象から除外いたします。また、利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。
8. 問い合わせ先：産業医科大学 整形外科学 善家 雄吉 (Tel: 093-691-7444)
9. その他：本研究参加による直接的利益はありません。対象者への経済的負担や謝礼はありません。本研究の利益相反は、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。